



美しい 県土づくりNEWS

2013 年

5 月

岩手県 県土整備部

手づくり広報誌第 106 号

平成 25 年 5 月 28 日発行

編集 県土整備企画室

目次

- 2 住宅再建相談会を開催しています！
- 4 達増知事による台湾トップセールス
- 5 いわて花巻空港 FDA 名古屋線 就航2周年
- 6 「第3回復興道路会議～岩手県～」を開催しました！
- 7 北上浄化センター「小水力発電施設」が完成！
- 8 北上川上流流域下水道「東仙北汚水中継ポンプ場」
運転開始！
- 9 田老防潮堤が本格的に工事を開始しました！
- 10 みんなで防ごう土砂災害！

三陸復興



いわて県民住宅祭 2013 の開催！

～最新エコ技術から始まる、いわての復興といわての住まい～

平成25年5月 18 日及び 19 日の2日間、盛岡市のアイスアリーナで、住まいと省エネルギーについて最新の情報を提供する「いわて県民住宅祭 2013」が開催されました。

天候にも恵まれ、2日間で3,237 組 7,014 人の来場があり、住宅や省エネに関する情報提供と合わせて、講演会やセミナー等の様々なイベントが行われました。

県は、これを後援するとともに岩手型住宅及び住宅モデルプラン並びに生活再建住宅支援事業費補助など住宅施策に係る情報を提供したところ、現在実施している各種補助事業に対して関心をお持ちの方が多く立ち寄られました。被災された方々からの「自分のケースで対象となる補助メニューはどれか？」などの具体的な質問に対応させていただくとともに、住宅のモデルプラン等の紹介をさせていただきました。



住宅再建相談会を開催しています！

～ 住宅の自力再建を支援します！ ～

建築住宅課

東日本大震災津波で被災された方の住宅の自立再建について周知を図り、自力で住宅再建を目指す方に各種支援制度等の情報提供及び相談を行うため、県では平成24年度から住宅再建相談会を開催しています。

相談会の内容

相談会は、行政及び（独）住宅金融支援機構から公的支援制度、住宅融資等について参加者の方に説明をした後に、説明者の他、岩手県地域型復興住宅推進協議会及び（一財）岩手県建築住宅センターが依頼した建築士等が住宅の再建に関する個別の相談に対応しています。

【相談対応機関】

岩手県、開催市町村、（独）住宅金融支援機構、岩手県地域型復興住宅推進協議会、（一財）岩手県建築住宅センター他



〈説明会の様子〉



〈相談会の様子〉

平成24年度に参加された方の声

- 住宅再建をあきらめて災害公営住宅に入るつもりだったが、住宅再建への希望が持てた。
 - 悩んでいたが、今後の住宅再建に向け大変参考になった。
 - 被災市町村以外にいる被災者も含め、もっと情報を提供して欲しい。
 - 復興支援の情報が多すぎて本当に欲しい情報が見つけづらい。
- などの声とともに、半数以上の方から「役にたった」との評価をいただきました。



平成25年度の開催計画

平成24年度は宮古市以南の6市町において、合計18回開催し369組713人の方から相談をいただきました。平成25年度も4月から毎月相談会を開催しており、6月から9月までの開催予定は以下の通りです。

開催市町村	開催日	時間	会場
宮古市	6月23日(日)	10:00~12:30	宮古地区合同庁舎 3階大会議室
	7月19日(金)	10:00~16:00	宮古市役所分庁舎 3階大会議室
	7月20日(土)	10:00~12:30	宮古地区合同庁舎 3階大会議室
	8月25日(日)	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	9月21日(土)	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
山田町	6月1日(土)	10:00~12:30 13:30~16:00	山田町保健センター 2階ホール
大槌町	6月2日(日)	10:00~12:30 13:30~16:00	大槌町仮庁舎 3階大会議室他
釜石市	7月5日(金)	10:00~16:00	釜石地区合同庁舎 3階第1会議室
	7月6日(土)	10:00~12:30 13:30~16:00	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
	8月31日(土) 9月1日(日)	10:00~17:00	シープラザ釜石内 シープラザ遊 (住まいの展示相談会会場)
陸前高田市	8月9日(金)	10:00~16:00	陸前高田市役所 4号棟第6会議室
	8月10日(土)	10:00~12:30 13:30~16:00	陸前高田市役所 4号棟第6会議室

住宅再建をお考えの方で、

「何処に相談したらいいか良く分からないんだけど・・・？」

「いろいろ支援があるみたいだけど、誰か説明してほしい！」

という方、住宅の専門家に個別に相談できる機会です。

事前の申込みは不要で、参加料、相談費用も無料ですので、皆様お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

(平日に住宅ローンの相談を希望される場合には、事前の予約が必要です。予約先：住宅金融支援機構東北支店 Tel 022-227-5035)

住宅相談会の開催については、こちらの県土整備部HPをご覧ください⇒

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4298&ik=1&pnp=53&pnp=4201&pnp=4293&pnp=4298>

また、開催市町村の広報等でもご案内しています。



達増知事による台湾トップセールス

～ 中華航空、本県定期便視野に市場調査実施へ ～

空港課

達増知事を団長とするミッション団が平成25年4月22日（月）～24日（水）の日程で、台湾を訪問しました。今回の訪問では、航空会社へのいわて花巻空港への国際チャーター便運航拡大及び国際定期便就航に向けた提案と、台湾旅行者への本県観光地の誘客のために旅行会社などを招待してレセプションを行いました。

中華航空本社への訪問では、台北―いわて花巻線の定期便化に関する要望書を手渡し、同社の孫会長からは定期便運航に向けて本県で市場調査を行う考えが示されました。

県では、課題として挙げられた岩手県からの送客や年間を通じた需要の創出など、今後とも官民一体となって国際定期便誘致に取り組んでいきます。



中華航空本社への訪問



政府関係機関への訪問



旅行会社への本県観光レセプションの様子



いわて花巻空港 FDA名古屋線 就航2周年

空港課

平成 25 年 5 月 21 日、株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）による「いわて花巻＝名古屋小牧線（名古屋線）」の就航 2 周年を迎え、いわて花巻空港で出発便・到着便の利用者へ記念品の配布を行いました。また、同社の須川専務取締役が来県し、マスコミ各社を訪問し、就航 2 周年を PR しました。

FDA 名古屋線は、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた東北地方の復興支援の一環として、平成 23 年 5 月 21 日に就航しました。翌年の平成 24 年 3 月 25 日からは 1 日 2 往復に増便、さらに今年の 3 月 31 日からは 1 日 3 往復となり、日帰りのビジネス利用などでの利便性が向上しています。

県では、今後、路線の定着と更なる利用促進に向けて取り組んでいきます。

到着便の搭乗者をお出迎え（記念品配布）



名古屋からの到着便



いわて花巻⇄名古屋小牧 運航ダイヤ (～2013/10/26)

いわて花巻			名古屋(小牧)			いわて花巻		
便名	出発	到着	便名	出発	到着	便名	出発	到着
FDA352	8:55	⇒ 10:10	FDA351	7:15	⇒ 8:25			
FDA356	16:20※	⇒ 17:35	FDA355	14:40※	⇒ 15:50			
FDA358	19:00	⇒ 20:15	FDA357	17:20	⇒ 18:30			

※6/4、5、11、12、18、19 は運休。

「第3回復興道路会議～岩手県～」を開催しました

道路建設課

復興道路の一日も早い完成を目指し円滑な事業推進を図るため、すべての関係者に対する事業進捗への合意形成と関係機関が連携して課題解決することを目的に、「第3回復興道路会議～岩手県～」が平成25年5月21日に釜石地区合同庁舎で開催されました。

会議は平成23年11月25日の第1回を皮切りにこれまで2回開催し、国の平成25年度当初予算の成立を受けて開催した今回の会議は、復興道路の全線事業化からちょうど1年半となる日の開催となりました。

佐藤県土整備部長はじめ、国土交通省東北地方整備局の川瀧道路部長ほか、沿線関係市町村の副市町村長、地元経済団体、報道機関などの関係者が一堂に会し、復興道路の用地進捗率が約60%に達していることや埋蔵文化財の試掘調査が約50%を終えたことなどを確認しました。

また、農林水産部森林保全課と教育委員会事務局生涯学習文化課から復興道路の整備推進に係わる担当者も出席し、保安林解除申請に係る審査事務の効率化や埋蔵文化財調査に係る調査員の増強による体制強化などの取り組み状況も報告されました。

今年度は復興加速年！

復興道路の全線開通に向けてアクセルを踏み込み、被災地の復興と県の発展が加速していくよう一層の御支援と御協力を！

佐藤県土整備部長からは「今年度を復興加速年と

位置づけ、様々な課題にも対応しながら事業推進を図る所存」との決意が示され、「これまでのスピード感を保持するためには地元の熱意が不可欠。関係者それぞれができる最大限の努力と連携が重要である」と関係者に引き続き協力を要請しました。



被災地の早期復興にかけた熱い思いを語る佐藤県土整備部長

復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い供用を目指し、地域一体となって事業を進めております。



国土交通省東北地方整備局 川瀧道路部長

北上浄化センター「小水力発電施設」が完成！ ～ 未利用エネルギーの活用 ～

北上川上流流域下水道事務所

県が平成23年度から整備を進めてきた北上川上流流域下水道事業の「北上浄化センター小水力発電施設」が平成25年3月に完成し、4月から運転を開始しています。

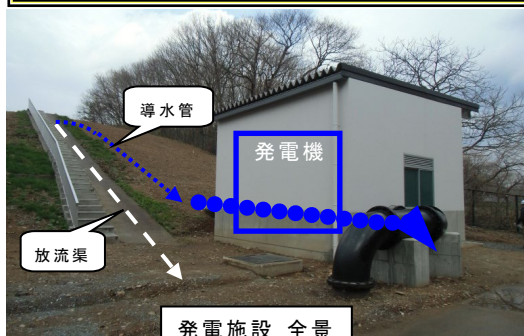
現在は、放流量の変動等を考慮した最適運転に向け調整を進めています。

当施設は、北上浄化センターの下水処理水の放流渠が有する14mの落差を利用して発電を行い、発電した電力を場内利用電力の一部としてまかなうことで維持管理費の縮減と温室効果ガス削減を図るものです。

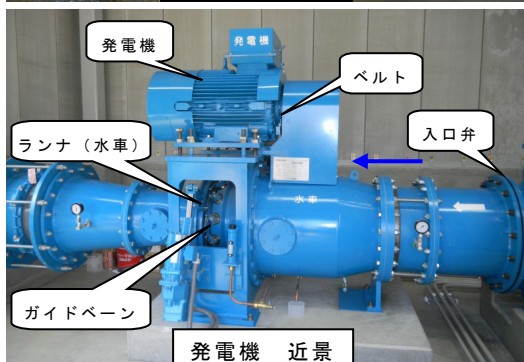
下水処理場における小水力発電の取り組みとしては、**東北地方で初めての事例**となります。

【事業概要】

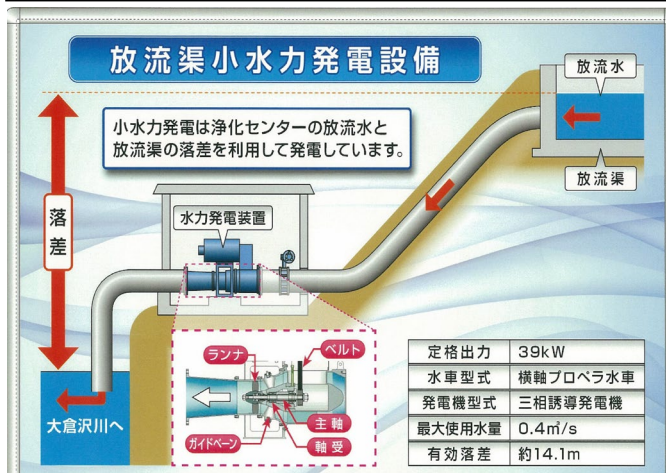
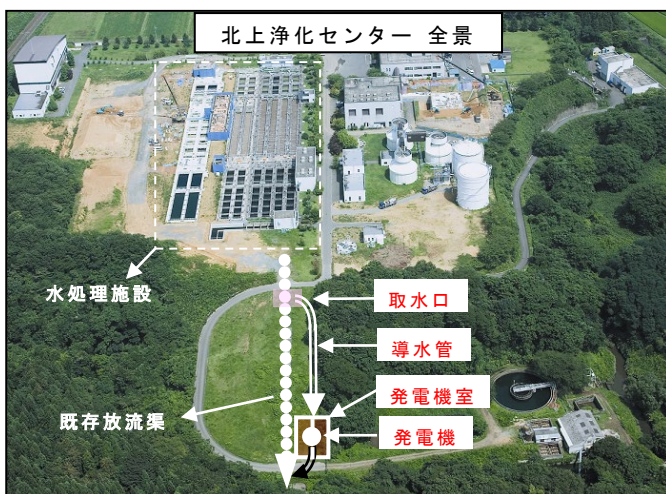
事業期間：平成23年度～平成24年度
事業費：約131百万円
施設位置：北上市相去町字岩の目3
(北上浄化センター内)
主な施設：三相誘導発電機 1基
(横軸プロペラ水車型)
定格出力 39kW 発電量 300MWh/年
放流量 11,600 千 m³/年 (H23)



発電施設 全景



発電機 近景



【事業効果】

▶ 汚水・汚泥の処理に大量の温室効果ガスを排出している下水道施設において、未利用エネルギーを利用したクリーンな発電により、**CO₂を160t/年削減する**効果が期待でき、地球温暖化対策に貢献できる。

▶ 北上浄化センターの**場内年間電力使用量の5%をまかなう**計画としており、相当する電力料金約**330万円の維持管理コストの縮減**が図られ、ライフサイクルコストの低減となる。

※なお、同浄化センターでは、汚泥処理過程で発生する消化ガス（バイオガス）を燃料に利用した消化ガス発電も導入しており、年間使用電力量の7%をまかなっている。

このような再生可能エネルギーの積極的な活用等を通して、今後も「環境に配慮した下水道事業」を推進していきます。

北上川上流流域下水道「東仙北汚水中継ポンプ場」運転開始！ ～ 下水道 水が笑顔に なれる道 ～

北上川上流流域下水道事務所

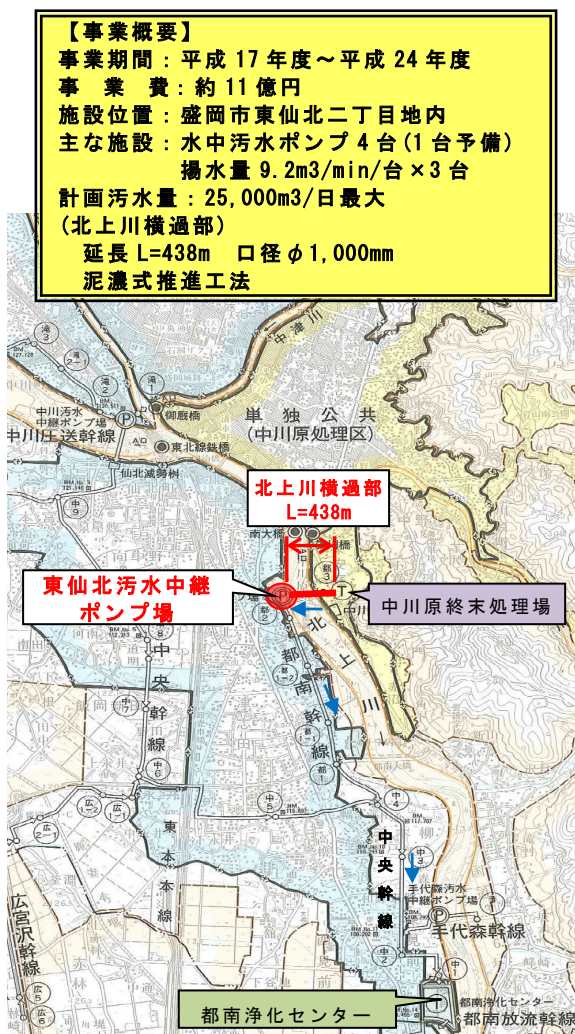
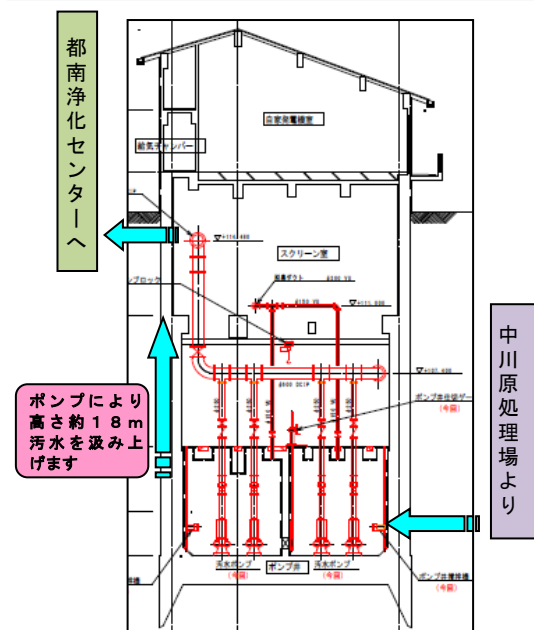
県が平成 17 年度から整備を進めてきた北上川上流流域下水道事業の「東仙北汚水中継ポンプ場」が平成 25 年 3 月に完成し 4 月から運転を開始しました。

東仙北汚水中継ポンプ場は、盛岡市単独公共下水道中川原終末処理場集まる汚水を受け入れて都南浄化センターまで送り出すためのポンプ場であり、これにより、汚水は都南浄化センターで処理し、中川原終末処理場は大雨時の雨水処理を行う施設となります。

中川原終末処理場から東仙北汚水中継ポンプ場までの北上川横過部分は、河床から深さ 5m の位置に推進工法により污水管を埋設しました。



東仙北ポンプ場 外観



ポンプ場本体は、地下の深度が 21m と深いことからニューマチックケーソン工法で施工しています。

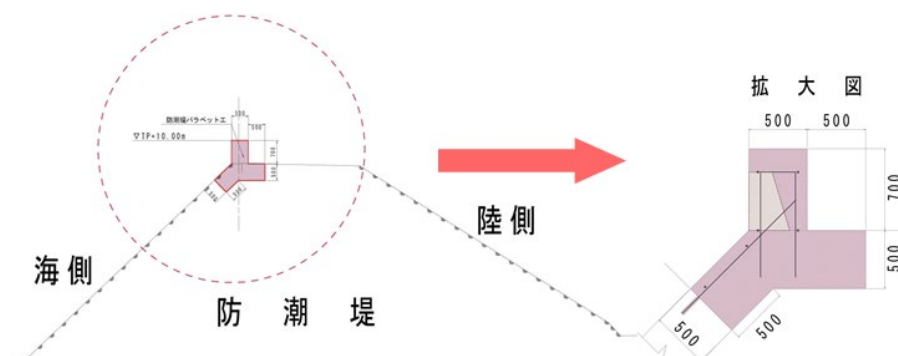
本体が土留兼用になることや、周辺井戸への水枯れ等の影響がない等の利点があり、また地下を掘削して作業する場合に比べてクラックの発生が少なく、品質向上が図られました。

東仙北ポンプ場の完成により、県の流域下水道で計画している施設の大規模な新設工事は全て完了し、今後は、処理場の増設と流域幹線管渠の延伸を進めながら、施設更新工事を主体にして施設の維持管理を行っていくこととしています。

田老防潮堤が本格的に工事を開始しました！

河川課

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた岩手県宮古市田老地区の防潮堤（総延長2433メートル）の本格的な復旧工事が5月14日から本格的に始まりました。今回は、X字形の2重の防潮堤のうち、地盤沈下した陸側の第2線堤を平均70センチかさ上げします。



安全祈願祭 田老地区海岸災害復旧工事の安全祈願祭（主催・三好建設株式会社）が平成25年3月8日、宮古市田老地区の現地会場で開かれました。同工事では田老地区の海岸防潮堤（二線堤）について、沈下した防潮堤を被災前の高さ（T.P.+10メートル）までかさ上げします。安全祈願祭では関係代表者がくわ入れなどの神事を執り行い、無事故での工事完成を祈願しました。当日は、工事を担当する三好建設株式会社の三好健志代表取締役や同社現場代理人のほか、県沿岸広域振興局の加藤郁郎宮古土木センター所長、宮古市、同市消防団などの関係代表者ら約20人が出席しました。

三好社長や加藤所長らがくわ入れや玉串奉てんなどの神事をを行い、無事故での工事完成を祈願。三好社長は「この大地に染み込んでいる涙と無念を忘れることなく、防災・減災施設を後世に残さなければならない。一人ひとりが使命感を胸に無事故・無災害で施工したい」と述べました。



みんなで防ごう土砂災害！

～6月は土砂災害防止月間です～

砂防災害課

近年、台風、梅雨前線豪雨、地震などにより全国各地で土砂災害が多発しております。

また、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

平成24年は、新潟県上越市での地すべりや九州北部豪雨などにより全国各地で837件の土砂災害が発生し、多くの尊い人命が失われました。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和58年から6月を『土砂災害防止月間』と定め土砂災害防止のために、さまざまな取り組みを実施しております。

平成25年度は、土砂災害に関する防災意識の普及、警戒避難体制の整備等を推進するため、住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携するなど、一人ひとりが防災意識を持ち土砂災害を防ぐために、様々な取り組みを実施することとしております。

本県でも、市町村などの関係機関・砂防ボランティア岩手県協会と連携して、土砂災害危険箇所の点検等を行うこととしております。

昨年の危険箇所点検の様子



また、平成25年6月17日から28日まで岩手県庁1階県民室において『土砂災害写真パネル展』を開催いたします。

県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介するパネルや、昨年度の土砂災害防止月間の行事の一環として小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」のうち、優秀作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

過去のパネル展の様子



土砂災害にはこんな前兆現象があります！

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。
キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地すべり	土石流	がけ崩れ
- 湧水量の増加 - 湧水の枯渇 - 池や沼の水位の急変 - 井戸水の濁り - 落石・小崩落	- 地鳴り - 深流水位の上昇 - 流水の異常な濁り - 土臭いにおい	- 表面に流水が発生 - 小石がばらばら落下 - 湧水発生 - 湧水量の増加 - 湧水の濁り
- 斜面のふくらみ - 地鳴り・山鳴り - 樹木の傾き - 亀裂・段差の発生・拡大 - 地面の震動	- 深流水で転石の音 - 流木発生 - 流水の急激な濁り	- 地鳴り - 斜面のふくらみ - 湧水の停止 - 湧水の噴き出し - 小石が頻りに落下

土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所：県庁7階 砂防災課

TEL: 019-629-5922・5923（土砂災害対策担当）FAX: 019-629-9140

E-mail: AG0006@pref.iwate.jp